

メーキャップ 状況	9月1日(月) 和歌山アゼリアR.C. 赤井 雅哉、岩橋 五郎、加藤 裕司、角谷 芳伸、亀田 直紀、黒田 純一、田原 久一、古屋 光英、村田 昌之
	9月1日(月) 海南東R.C. 武田 慎介、豊田 英三

ニコニコ箱

ありがとうございました

瀧 成和さん	お礼をニコニコに頂きました。
主井 知子さん	中筋正浩さん(和歌山西R.C.) I.M.のPR隊としてご訪問させて頂きました。 ご出席よろしくお願ひ申し上げます。
山東 勝彦さん	第1回IDM皆様のご協力で無事終了できました。厚くお礼申し上げます。
玉置 博康さん	県高野連出席の日当です。
名手 功さん	小さな施設がオープンしましたので。
松田 洪毅さん	和歌山西ロータリークラブ主井会長さん、ようこそおいで下さいました。 世界大会は毎年参加されているとおきしております。会長職頑張ってください。
岡野 年秀さん	瀧ライラ委員長をお迎えて、感謝!本日よろしくお願ひいたします。
中山 恒夫さん	2640地区の瀧成和青少年・ライラ委員長をお迎えて。
岸裏 廣澄さん	阪神さんそろそろ辞任してはどうですか。あとは巨人にお任せ下さい。
阪神タイガース応援団一同	ヒタヒタ足音が聞こえて来ました。ガンバレタイガース。
八幡 建二さん	地区青少年・ライラ委員長の瀧様、お忙しい中お難うございます。
前田 成蔵さん	例会出席ありがとうございます。
檜畑 友洋さん	朝夕ようやくすずしくなってきました。寝冷え等お気を付け下さい。

【本日の累計 50,450円(計13名)(お誕生日お祝い 150,000円 皆出席 15,000円 その他 685,592円) 累計額 850,592円】

本日の例会 9月11日(木)

- 卓話「閑空のいろいろ」
りんくう電設(株) 取締役 木村 利三さん
- 皆出席表彰
豊田 英三さん 1年皆出席 通算6年
- ピアノ演奏
中井 利枝さん
風の子供たち(リチャード・クレイダーマン)
小さなピアノの詩(リチャード・クレイダーマン)

次回の例会 9月18日(木)

- 「会話で学ぶ人間学」-私と向き合って語ってくれた人々-
元和歌山県議会議員 渡辺 勲さん

前回の例会 9月4日(木)

- クラブフォーラム「青少年」
- 卓話「新世代月間に因んで」
2640地区青少年・ライラ委員会
委員長 瀧 成和さん(富田林R.C.)
- ロータリーソング
野上 泰造さん
「奉仕の理想」
- ビジター紹介
上中 崇司 親睦委員
和歌山西R.C. 主井 知子さん 中筋 正浩さん
- 出席報告
田原 久一 出席 副委員長
会員数56名(内出席規定適用免除会員9名)

9月4日(本 日)	35名	74.5%
8月21日(メーキャップ後)	47名	100%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	9月11日(木)	卓話「人生と職業について」新田 勇一会員
	和歌山南R.C.	9月12日(金)	卓話 毎日新聞大阪本社編集局長 岸本 卓也さん
	和歌山中R.C.	9月12日(金)	「AED講習会」和歌山市消防局警防課
	和歌山北R.C.	9月15日(月)	例会休会
	和歌山アゼリアR.C.	9月15日(月)	例会休会
	和歌山R.C.	9月16日(火)	卓話「地域における鉄道の役割」辻子 義則会員
	和歌山西R.C.	9月17日(水)	クラブフォーラム「IMIについて」
	和歌山東南R.C.	9月17日(水)	I.D.M.発表

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp
E-mail: info@werc.jp

2008年 9月 11日(木) 週報 / VOL.50 No.10(通巻2373)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。9月になりましたが、朝夕は少し涼しくなりましたが相変わらず日中は大変暑い日が続いております。互いに健康に留意してがんばりましょう。

最近のテレビ新聞等では総理大臣の辞任ということで次期自民党総裁選挙のことばかりです。22日の選挙で決定しますが、せめて今問題になっている税金の無駄遣い、官僚や外部団体でドンドン税金が使われている問題を徹底的に改善してくれる強いリーダーシップを持った方になっていただきたいという想いでいっぱいでございます。いろいろ難しい世界だと思いますが、22日の結果を楽しみにしている一人でございます。

話は変わりますが、新聞の小さい記事でございましたが今年の10月より日曜祝日の首都高速以外の高速道路料金が半額になるそうです。今現在は朝6時から9時までと、夕方5時から8時まで、ETCで高速に入りますと通勤割引として半額になります。それが10月からは日曜祝日に限り朝9時から夕方5時も半額になります。今も深夜割引で3割引や4割引もありますので、まだETCを付けていない方は付けられてはどうかと思います。

以上です。ありがとうございました。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



- ・先ほど西ロータリークラブ様よりご案内がございましたIMの、講師のプロフィールを皆さんにお配りしております。
- ・「ロータリーの友」英語版の注文書がきております。
年1回発行 一冊525円 事務局にご注文ください。
- ・こぼと学園の夜店とバザーのご案内がきております。
9月13日(土)17:30から 雨天の場合は14日(日)となります。
夜店の金券もいただいておりますので、お手伝いいただける方はご参加ください。
- ・JCニュース 回覧

和歌山西ロータリークラブ

ご挨拶

主井 知子さん 中筋 正浩さん



皆さん こんにちは。西ロータリークラブの主井と中筋でございます。貴重な例会のお時間を頂戴しまして大変恐縮に存じます。

この度のIM開催について全員の方のご出席をよろしくお願い申し上げます。親睦会についてですが、市内9ロータリークラブのメンバーが一同に会して懇親を深める良い機会ではありますが、皆様からいただいているご奉仕を、活躍されているNPO団体への協賛金として活用させていただきたく、よって懇親会は開催しないことに決定いたしました。お忙しい中、閉会まで出席いただきました皆様への感謝の印として抽選会を行い、ささやかな賞品をご用意させていただきたく思います。微力ながら、有意義で楽しいIMとなるよう、会員一同取り組んでまいりますので、何卒ご支援ご協力の程、お願い申し上げます。

委員会報告

ロータリー情報規定委員会

山東 勝彦 委員長



こんにちは。情報規定委員会と親睦委員会合同で、明日、赤井雅哉君の歓迎会を行います。18:30から「大芳」です。どうぞご出席をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

卓 話

新世代月間に因んで

2640地区青少年・ライラ委員会 委員長 瀧 成和さん



富田林RCの瀧と申します。私と地区の青少年委員会・地区ライラとの付き合いは、13年前に楠PGがガバナーをされておられ、紀北青年の家に於いて橋本RCが中心となってライラを開催された時から始まります。その次年度の中村ガバナーの時に青少年担当の地区幹事をするようになっておりまして、勉強しておかないといけないということで参加したものでした。それ以来2640地区のライラには毎回参加しております。お陰でライラ仲間内ではライラの主なんで呼ばれている次第です。もう1人そのときから続けて参加している方で忠岡RCの松尾さんがおられます。彼は地区委員長をその次年度からされ、当地区ライラの元祖と呼ばれています。当時はガバナーを出しているクラブが必死になって取り組む地区大会寸前で地区ライラを主催する状況でした。それを打開する為に、IM単位で協力者・キーマンを出して貰うことを始めたのはその松尾さんです。

私は学生時代からアウトドア活動が好きで、高校生の時は金剛山や紀見峠近くの友人の家に来てキャンプなどをしていました。そのときの仲間はいろんな大学に進んだのですが、多くがワンダーフォーゲル部や山岳部に入りました。でも結婚し自立して仕事を始めますと体重が毎年5キロずつ増えてきて肥満体となって参りまして山に行くのは減ってきた訳です。ですが子供がカブスカウトに入りますと、リーダーをせよとの要請でいつの間にかスカウト活動にはまってしまうました。で、中村PGがそれを知ったことかと思いますが、青少年担当の地区幹事を命じられてから、地区ライラとの付き合いが始まったのです。

8月23日に地区の青少年ライラ委員会を持ち、その時に7月に各クラブあてにアンケートを出し88%強の回答を得て集計致しました、その結果を発表しました。1つ目の問いでは今年度の各クラブの青少年関連の事業についての予定をお聞きした訳です。集計結果から、地域の青少年(育成)事業への協力・参加が32%、次に地域の青少年団体が行うスポーツ・社会福祉を支援するというクラブが20%これにはボーイ・ガールスカウトへの支援も含まれています。地区ライラに参加協力が15%、続いてアクトとの交流・支援が15%、卓話が4%、その他が5%、残念ながら記入なしのクラブが6クラブもあったのですが、これは担当された委員長さんがまだ7月という年度の初めで会長・幹事さんとも相談が出来ていないので書けないということだと思います。今ロータリーは4大奉仕部門の形で動いていますが、かつて5大奉仕部門であった頃は青少年委員会の委員長も必ず理事をされていたので、7月ではまだ話し合いがされていないという事情が原因であると思います。青少年育成に関しては、継続的にしていく必要性があることが多いのですが、各クラブも毎年のように継続する意義を検討されて実施されているようです。やはり1、2年限りというのでは、私も良く相談に行くのですが、相手の青少年育成団体・学校・もちろん教育委員会などもかえって困るようです。現在ロータリークラブで継続的に青少年育成に取り組んでいるものとして、インターアクト、ローターアクトの育成・教育・指導が最も有効なものと思います。これらのクラブを持ち、一緒になってボランティア・国際交流・地域活動をする事は、素晴らしい育成事業であるとともにロータリアンの様々な生き様を見ることが出来ますので人間形成にも役立っていると思います。私の所の富田林クラブはインター、ローターの両クラブを持っていますが、インターは現在学校のクラブ活動としての面もあり顧問の先生方が多くして下さるのでクラブの会員の肉体的な負担は軽くなっております。しかしローターの方は、少し油断をしますと会員数が減り存続問題が出て参ります。地域奉仕などではロータリアンが表に出ずに彼らに主体となってもらい裏で支援・協力という形がとれますので、社会奉仕の実施という面で誠に都合の良い所もあります。また若いエネルギー、感性、若人だけの知識を肌で感じる事が出来、しかも奉仕精神にあふれている人たちといつも接して参りますことは、自分も若さを取り戻す以上に、まだまだ活力をもって生きていくのだぞ!という自らの積極面を呼び戻される思いがするものです。このアクトクラブを設立10年以上のクラブは、人が大人になって子供を持つように、持って頂きたいものです。このことは九州南部の方では言われ続けられているようです。しかしながら経費など考えましたら難しいのでしょうか、何処のクラブもアクトクラブを持つことに躊躇されるようです。ですから近隣にアクトクラブがありましたらご子息・従業員さんなどのご紹介を賜わり増強に努めて下さい。地区としましても、ローターの減少・アクトの減少に苦慮しています。そんなわけで、アクトを急に増やせませんので、短期で青少年育成をするプログラムとしまして、RYLA研修をとりあげ、開催しているということになります。

所でライラという言葉は、学生団体などで、リーダーを育てるためのリーダーズアSEMBリー、などがありますが、そのRC版というわけではありません。ロータリーが行うものとして、特にロータリー・ユース・リーダーズシップ・アワードとして1971年RI理事会が採択したものです。アワードには与える、授与する、奨学金、審査するなどの意味があります。このことは若い人々にリーダーを授与する。つまり一緒にはげればリーダーになるのだよ!という機会を与える場であるということだだと思います。

ライラの紀源は2つありまして、アメリカで高校の男子生徒を集めて指導者キャンプから始まった自己の指導技術を磨く教育的レクリエーション活動方式のものと、オーストラリアでの式典にイギリスの王女を招いた時集めた青年達が素晴らしく、この催しを毎年行うことに決め、文化・社会・教育プログラムに参加させるというセミナー方式のものがあつたわけです。これらはほぼ1週間の日程でされるものであります。

日本では、大阪・和歌山の366地区が最も早く始めたといわれています。ライラが始まった頃は私もまだRCに入っておりませんが、以前の266地区でのライラの記憶がありません。RACの年次大会にはよく参加させて頂いておりました。以前のライラはローターアクト達の祭りのような傾向があつたのです。ただ一昨年のジャパンライラに参加しました所他地区はまだその傾向が残っているようでした。日本で最初にライラを始めた366地区の後継地区として2660地区はライラの先進地区としてライラを大事にさ

れているようです。年2回のライラをされていまして、一つは山のライラと言って、能勢にある大阪府立野外活動センターを使っての1泊でのもので、別名一般ライラとか下級ライラなどと言っておられます。もう一つは海のライラでして私どもの2640地区と同じく淡輪の大阪府立海洋センターを使っての2泊3日のライラで上級ライラと言っておられます。そのようなわけで全国で一番よくやっている地区と今もいわれているようです。

2640地区のライラの特徴

当地区のRYLAに参加した研修生達やIAC・RACのアクトたち・交換学生・米山研修生などの、参加したメンバーが仲間として互いに親くなる為の方法としましては、アウトドアでの活動を中心としているところが特徴です。他所では、様々なものが考えられています。一緒に輪になったりして体を動かすゲームなどや、唱歌など、一緒に歌える歌を唱和することなど研修センターのリーダー達に手伝って貰っているところもあります。当地区ではアウトドア活動といっても、戸外で一緒に食事を作って食べる。キャンプファイヤーをする。球技をする。歩く。などの簡単なものですが、それを班に別れて入って知らない者同志と一緒にいるという所から連帯感が生まれてくることを利用しているものです。この理由としましては大自然の下で心身を鍛えたり子供たちを育てたりすることは、学校の教育プログラムなどにも入っております。また青少年育成の団体としてボーイスカウト・ガールスカウト・YMCA・海洋少年団などがありますが、やはり自然の中での取り組みを中心としています。人に厳しくされることには違和感があったり、恨みごとが芽生えたりしますが、厳しい自然に晒されて鍛えられるという事にあまり違和感を持つたりはしないものです。命に関わるほどの厳しいことは十分な訓練なしには出来ません。しかし軽い運動を兼ねる程度のことや屋外調理・炊飯などは誰にでも出来ることで、それらを通じて仲間意識を育んでもらい、次にテーマについて互いに意見をぶつけ合いながら討論をし、班のみんなで討論内容を発表するということまで行きます。最期には大型のカッターボートを使って海上でレースをして貰います。これには互いにタイミングを合わせて權(オール)を漕がないと動きが悪いという厄介な特徴があり協調性を育てるのに有り難いものです。

また、当地区の独特のものにライラキーマン制をつかっていることです。それは地区内に8組あるIM毎にライラキーマンを出して頂きライラ進行の協力をして頂くという方法です。そのIMの地域を利用するプログラムも取り入れていることです。ですから単に大阪府立の海洋センターを使った海中心のプログラムだけではないという事も特徴と言えると思います。たとえば、和歌山県では以前では熊野古道を歩くとか、去年の4月は道成寺や大地震後の津波被害を「稲むらの火」を焚いて多くの人を救った広川町の訪問をしました。昨年度は泉州中部の第7組からキーマンを出して頂き、和泉市の弥生博物館、久保惣美術館を中心に泉州の歴史に親しみました。

「新世代会議」なるものを、1996～1997年度アルゼンチンのジアイRI会長の“築け未来を”の合言葉の下、地区内の各地で持って頂きました。当時私も青少年担当地区幹事をしておりましたので、その年のライラをどうするか、当時の委員長さんと何度も相談したものでした。貝塚市にある府立少年の家を使ってのライラでしたが200人を越える参加者があり無事に終了した時はホッとしたものでした。私の属する富田林RCでも、ガバナーを出しているクラブでもあるので、この新世代会議を中身もあり、尚且つ継続できる会議にするべく周到に準備した記憶があります。お陰で8年間続けて開催し、その後は1年おきに続けていまして今年6月に第10回目を開催しました。青少年育成を目的とした奉仕は、何処までも純粋な奉仕であり結果や見返りは決して期待出来ないものです。活動の基本となる職業奉仕は倫理に乗っ取って行うものですが青少年奉仕は自らのボランティア精神を奮起させる所から始まるものと思います。でもそれはそれで楽しく愉快な経験をうる事が出来ます。例えばアクトたちと一緒に様々な活動をしたりしますと、大変楽しく、しかも私達を人生の先輩として敬ってくれたり、もし疲れたような所を見つけると癒してくれたりします。ライラでも同じようなことが感じられます。ライラに参加されたロータリアンは所在無事にうんざりされる方もありますが、研修生の班に入れ一緒に汗をかいったり討論に参加(教えるようなつもりで入ったら駄目なのですが)したりすると、自分の会社の職員に対する気持ちなどと異なる仲間意識などが芽生え新たな経験を与えられたような気がする時があります。特に最近の留学生(交換学生を含めた)は、日本の文化により親しもうとして留学してきた人が多く、彼らは実に意欲的でしかも短期間にビックリするほど日本語が堪能となっています。そして発想も異なり日本人ならとても思いつかないような話をしてくれます。そのため同じ班にその様な留学生が入っていた時は素晴らしい体験を持つ事が出来るかもしれません。

今年度のライラもこのような体験を得て頂くべく準備するつもりでいます。メインテーマは、昨年と同じく「豊かな人生を築くには」としました。楽しい人生、後悔のない人生を送りたいものです。またエコライフを取り上げます。といひますのはこの地球の健康が保たれていなければ全てが意味をなさなくなると考えられるからです。若い人たちはどの様な議論展開をしていくか、若干心配もありますが期待いたしています。またサブテーマとして地域の歴史に親しんで頂きたいと考えております。この理由としまして、大阪南部・和歌山は古くから発展した地域ですが、残念ながら明治維新以後あまり歴史に出てきません。また人々を呼び込むような特別な施設というものも作られておりません。関空だけが造られましたがこれは人が通り過ぎるための施設であるだけとなっています。そのためもあり私達は古事に出てくる歴史的なもの、建物・古道・文化財・考え方などを深く知り、地域に誇りを持ち続けることが肝要だと考えています。基本としまして自らを愛せなくては先に進むことは難しいのですから、このようなテーマを挙げさせて頂きました。特に今年はライラキーマンの担当がこのIM3組です。和歌山東クラブからもキーマンをだして頂き、この地域の歴史に浸る1日をもちたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

天候の問題もがありますが、今年度もきっと素晴らしいライラを開催出来ると信じて準備を進めております。どうか、貴クラブの多くの方々にもご参加願ひ、ライラに花を副えて下さいますようお願い致します。